



平成28年度第2回

高知大学大学院博士課程
医学専攻

DCセミナー

【理系】

日時：平成28年4月28日（木） 18:00～19:30

場所：大学院棟 1階 セミナー室

演題：小児脳腫瘍の分子病態

講師：国立研究開発法人国立がん研究センター研究所
脳腫瘍連携研究分野

分野長 市村 幸一 先生

内容：

悪性新生物は14歳以下の小児において病死の原因として第1位を占める。そのうち脳腫瘍は20%余りを占め、固形腫瘍としては最も多く、極めて重要な疾患である。小児脳腫瘍は多岐にわたるが、特に頻度が高い腫瘍はグリオーマ（低悪性度、高悪性度）、胚細胞腫、髄芽腫、上衣腫などである。また頻度は低いものの難治性で臨床的に重要な腫瘍に胎児性腫瘍（AT/RTなど）がある。近年の次世代シーケンスを中心とした技術の発達により、小児脳腫瘍のゲノム解析が進み、その結果それぞれの病理学的範疇の中に、分子的発生機序と病態の異なる様々な亜型が存在することが明らかになった。これらの亜型は治療反応性・予後が異なり、また標的治療の対象となりうるものも存在するため、小児脳腫瘍の分子分類は今後日常診療において必須となることが予想される。本講演では小児脳腫瘍の分子分類とその病態について、概観と診療的意義を紹介する。

医学専攻長：本家 孝一
担当：脳神経外科学講座

* 大学院の学生（博士課程医学専攻、平成20年度以降の入学生）は、4年1学期までに専門研究者・教育者の講演を10講演以上聴講し、内3講演は文系の講演を聴講すること。なお、DCセミナーは必修科目（2単位）です。講演ごとに所定のDCセミナー出席確認票を持参し、講演者あるいは担当教員（世話人）から押印（サインも可）を受け、レポートを作成し、指導教員に提出すること。